

第3章 本市が目指す将来の環境像は？

1. 本市が目指す将来の環境像

本計画を推進するにあたり、各主体が積極的かつ主体的に環境保全活動に取り組むことのできる、簡潔でわかりやすい目標を市民・事業者と共有するため、本計画の策定にあたり実施した市民・事業者アンケートや市民ワークショップの結果も踏まえ、本市が目指す将来の環境像は以下のとおりとします。



◆ 自然との共生

本市は、市域の中央部を貫流する涸沼川などの河川、愛宕山や佐白山といった山々、市内に広がる農地など、豊かな自然に囲まれ、その恵みを受けながら発展してきました。日本一の栽培面積を誇る栗をはじめとした、農耕地などの里山環境、本市が誇る稲田みかげ石や伝統工芸品である笠間焼の原料となる粘土など、本市の豊かな自然は、わたしたちの暮らしを支えるとともに、心を癒すかけがえのない財産です。環境保全の取組を継続することで健全な生態系を保全し、自然の恵みを持続的に享受することのできる、人間社会と自然環境が調和を図りながら共存するまちを目指します。

本計画の策定に向けて市民ワークショップを開催しました

本計画の策定にあたり、2025(令和7)年6月7日に、市内在住の方を対象としたワークショップを開催しました。

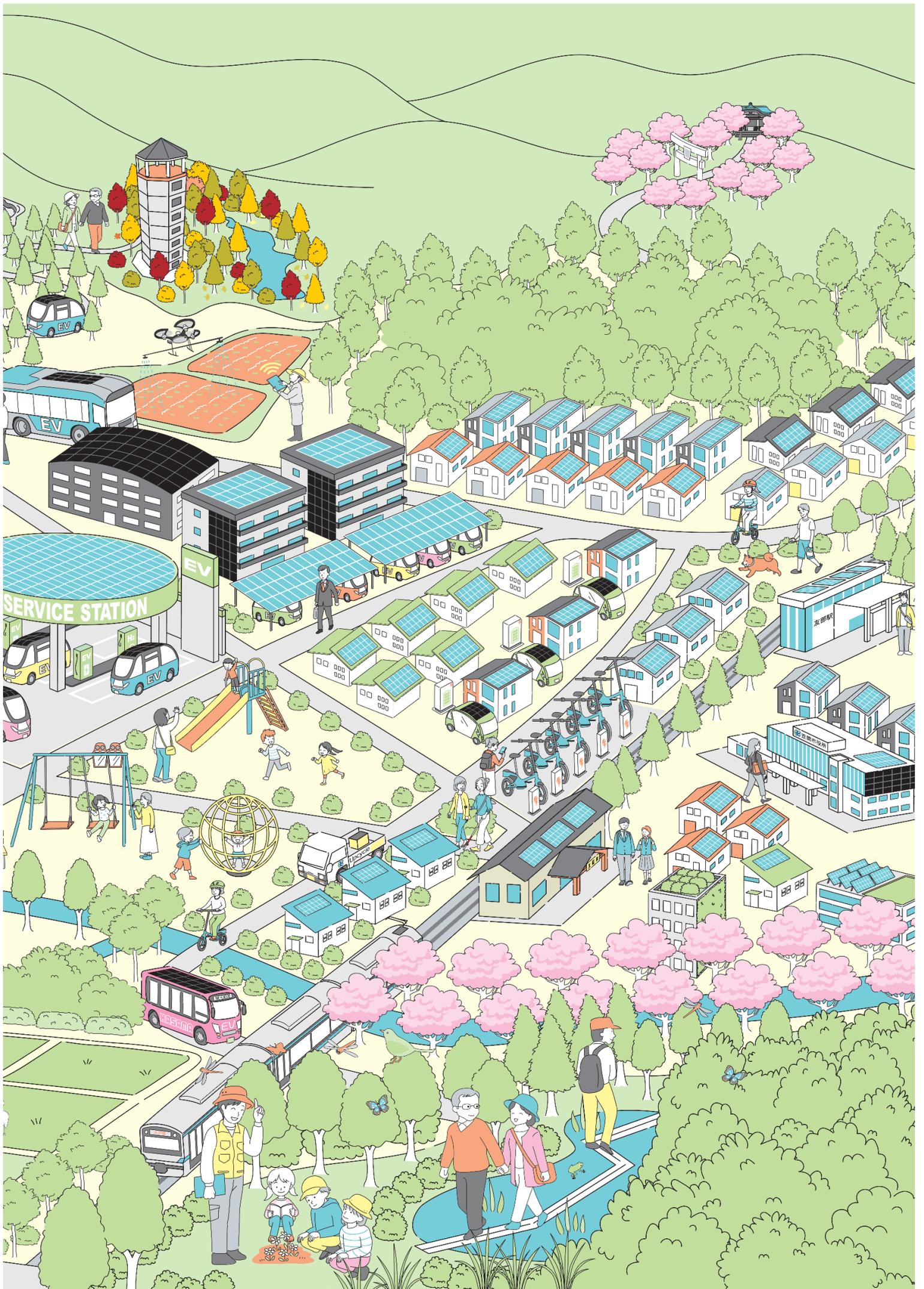
ワークショップでは、「市の環境を守るための取組について考える」というテーマを設けて意見を交わすとともに、本市の目指す将来の環境像について考えていただきました。



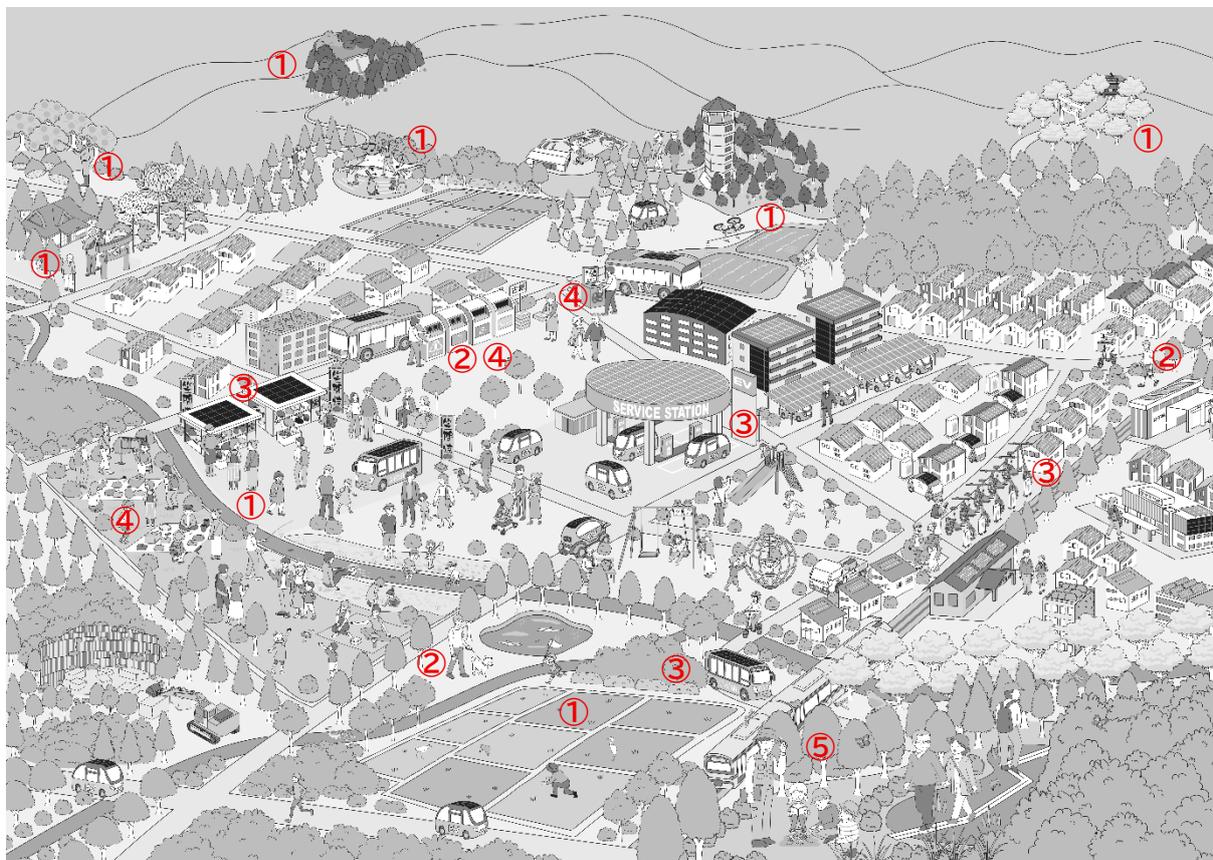
市民ワークショップ開催風景

本市が目指す将来の環境像





- ◆ イラストで描いた、将来の笠間市をかたちづくる主な取組・要素について
 前ページに掲載した、本市が目指す将来の環境像をイメージしたイラストについて、描かれている取組・要素を環境分野ごとに整理しました。



分野	要素
① 自然環境	環境にやさしい農業 自然・文化と調和した街並みの保全・形成 公園・緑地の活用 など
② 生活環境	環境の美化 ペットの適切な飼育方法等のルールやマナー など
③ 脱炭素社会	再生可能エネルギーの自家消費 省エネルギーの推進 など
④ 循環型社会	ごみ減量化の取組 プラスチックの排出抑制 など
⑤ 環境教育・協働	環境教育・学習への参加 など

2. 環境目標と施策体系

(1) 環境目標

本市が目指す将来の環境像を実現するため、5つの環境分野ごとに環境目標とそれを達成するための取組方針を定めました。

第4章では、それぞれの環境目標の達成に向けて、取組方針に基づく主要施策や、具体的な行動内容等を展開するとともに、環境指標を設定します。環境指標の目標値達成に向けては、重点事業アクションプランで関連する取組を設定するなど、計画的に施策を推進します。



(2) 施策体系

目指す将来の環境像	自然との共生 かさま	
環境目標	環境要素	取組方針
1. 田園風景が美しく 文化と調和した 自然環境	1-1 生物多様性	生物多様性の保全・回復を目指し、健全な生態系を維持します
	1-2 自然景観	美しい自然景観・田園景観を保全・創造します
	1-3 公園・緑地	潤いと安らぎを与える公園・緑地を保全・活用します
2. 住み心地がよく 健やかな生活環境	2-1 環境管理・公害防止	環境汚染や公害を未然に防ぎます
	2-2 有害化学物質	有害化学物質から健康を守ります
	2-3 暮らしのマナー・モラル	誰もが快適に暮らせるまちづくりを進めます
3. 地球温暖化防止へ 貢献する脱炭素社会	3-1 再生可能エネルギー	再生可能エネルギー導入により、市全体へのエネルギーの自家消費を進めます
	3-2 省エネルギー	エネルギーの有効利用を推進します
	3-3 持続可能なまちづくり	住みやすく、働きやすく、災害に強い、持続可能な地域づくりを推進します
	3-4 気候変動への適応	気候変動による影響に対して、適応策に取り組みます
4. 資源を有効活用 する循環型社会	4-1 廃棄物	4R を推進し、ごみの排出量を減らします
	4-2 プラごみ	環境負荷ゼロへの挑戦(プラスチックごみゼロ宣言)のもとプラスチックの排出抑制及びリサイクルを推進します
5. 共に考え自ら 行動する各主体 による協働	5-1 環境教育・学習	環境保全について自ら考え、行動できる人を育てます
	5-2 環境保全活動	各主体の活動を活性化し、主体間の連携・協力を推進します